

帯広市立帯広第二中学校

進路で考えるために

一人一人の生徒にとって、義務教育終了後の進路実現に向け、「自分の進路をどうするのか」「自分の進路がどうなるのか」、重大な決定をしなければならない時期となりました。単に中学を卒業したら進学する、または就職するというのではなく、これからの長い人生を展望し、「自分は将来どのように生きたいのか」、「自分の特性を生かすにはどのような職業を選べばよいのか」…というようなことも視野に入れて考えてほしいと思います。

しかし、人生経験が十分でない中学三年生にとっては、それにも限界があります。そこで判断をより適切に、自分の進路実現に意欲と自信をもって臨めるように、教職員が加わって生徒・保護者の三者で相談を行います。

相談は、生徒自身やご家庭の意向をふまえ、客観的な資料(学業成績・日常の生活の様子など)に基づいて、現状で考えられる最もよい方向を共に考え、最終的に生徒自身の手でしっかりと決めてほしいと思います。

人生の進路は、中学校を卒業したときだけで決定してしまうのではなく、年代に応じて何度も「進路選択」をしなければならない場面があります。

そんな時に本人がどのように対処していくかが、長い人生を有意義に生きていけるかどうかの分かれ道になるように思います。私たちは、この人生最初の進路選択との出会いで、子どもたちが学ぶことをいろいろな場面で生かしてほしいと願っています。

[保護者の皆様へ]

子どもの進路は勝負ではありません。他の子どもと比較すべきものでもありません。「何が何でも〇〇高校を」と進学のための進学になることの無いようにお願いします。

子どもの性格・学力・特技・興味関心、将来の希望、さらには、社会や家庭の状況なども考えながら、子どもが納得できるように人生の先輩として助言をしてあげることが大切だと思います。

また、これをきっかけに子どもが、将来「生きていくための力」を獲得できるような機会としてほしいと思います。

[生徒の皆さんへ]

進路に関して思い悩むことが多くなると思います。さらに、家の人と意見が合わずに悩むことも出てくると思います。だからといって自分の進路決定から逃げてはいけません。

単に進学できるところに進学する。勉強や学校が嫌いだから就職するというのではなく、これからの長い人生を展望し、「自分は将来どのように生きたいのか」、「自分の特性を生かすにはどのような職業を選べばよいのか」…というようなことを考え、家の人や先生の話を参考にした上で自分自身の進路を自分で決定してください。

後期生徒会役員

先月行われた生徒会役員立会演説会では、それぞれが問題意識を持って、新たなことに挑戦しようとしている姿勢が感じられました。

生徒会役員に意思と勇気と目標をもって立候補してくれた皆さんに深い敬意を表します。

10/18の生徒総会前に生徒会役員認証式にて認証され、後期の活動が本格的に始まります。

本校の生徒会活動のまとめ役として、先生方と「協力」して、よりよい学校生活の創造を目指してもらえよう願っています。

〈平成30年度 帯広第二中学校後期生徒会役員〉

生徒会 会長 木幡 桃華 (2の1)

生徒会 副会長 宮浦 るる (2の3)

生徒会 副会長 佐藤 龍之介 (2の3)

生徒会 事務局員 大林 朋禾 (1の2)

生徒会 事務局員 菅原 拓人 (1の2)

生徒会 事務局員 村瀬 祥瑛 (1の1)

平成30年度全国学力学習状況調査 本校の結果

4月に実施された全国学習状況調査について本校の結果をお知らせいたします。

国語A(A:主として「知識」に関する問題)は、全国平均をやや下回りました。国語B(B:主として「活用」に関する問題)は、全国平均をやや下回りました。数学Aは、全国平均をやや下回りました。数学Bは、全国平均を下回りました。

理科(3年に一度実施)は、全国平均を下回りました。

3年生については、一人ひとりに個人票を配付いたしました。今後、分析と改善策についてホームページなどによりお知らせしていく予定です。